

## シンポジウム

### ② 医はき師からみた、医師・鍼灸連携の勘所

口之津病院 内科・総合診療科

医はき師

寺澤 佳洋

私は、はり師、きゅう師以外にも医師の資格を有しています。そのため、医師・鍼灸連携に関して、鍼灸師からのみではなく、医師からも意見や不満(!?)を聞くことができ、役得です。また、鍼灸師と連携したい医師にも、医師と連携したい鍼灸師にも多く出会ってきました。

一方で、「医師/鍼灸師と連携するにはどうすればいいのでしょうか?」と多くの方が私のところへ尋ねに来ますし、色々な場で議論になっています。そういった場では、“医師が鍼灸に関して知識が足りなさ過ぎる”“東洋医学用語への理解が足りない”“鍼灸側は西洋医学の知識が浅い”“共通言語で会話できない”“鍼灸を認めてくれない医師がいて困る”など色々な意見が挙がります。仮に唯一解があれば、すでにこの問題は解決されているはずですが、長年解決できていないでしょう。

今回のシンポジウムでは、「医師/鍼灸師と連携するにはどうすればいいのでしょうか?」といった疑問が少しでも解決に向かう糸口になればと思っています。私なりの考えをお話させてもらいますが、ぜひ、当日皆さんの意見もお聞かせ下さい!